

会 議 録

会議名	辰野町文化財保護審議会（第3回）
開催日時	令和2年3月13日（金） 午後3時00分～午後4時00分
場所	町民会館 103号学習室
出席者	14名中 12名（審議委員10名、事務局2名）
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 教育長あいさつ 4. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 文化財保護事業 経過報告について (2) 町誌編纂時探訪史料の保存状況について (3) シダレグリ保存管理委員会について (4) 令和2年度の事業について <ul style="list-style-type: none"> ・シダレグリ再生事業 ・矢彦神社右回廊修繕 (5) 『辰野町資料』について (6) その他 <ul style="list-style-type: none"> ・町並みワークショップ報告 ・町並み講演会報告 ・郷土研究会（仮） 発足に向けて ・土偶X線撮影 ・『辰野町の指定文化財』発行 5. その他 6. 閉会
会議結果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 教育長あいさつ（教育長不在のため省略） 4. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 文化財保護事業 経過報告 ※第2回審議会(11/26)以降のものを報告 <ol style="list-style-type: none"> ① 文化財保護審議会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3月：『辰野町資料』120号・121号発行 ・ 3月13日：文化財保護審議会（第3回） ② 文化財保護活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 11月30日：町並みワークショップ ・ 12月11日：古城のケヤキ講演会、樹木診断 ・ 12月14日：小野宿町並み講演会 ・ 12月19日：木地師の墓の柵設置完了 R2年 ・ 1月16日：油屋天井修繕完了 ・ 1月20日：第65回文化財防火デー ・ 1月28日：郷土研究会設置打合せ ・ 2月 4日：仮面付土偶X線撮影 ・ 2月 6日：シダレグリ保存管理委員会 ・ 2月18日：薬師如来拝観 ・ 3月28日：油屋保存会役員会 ③小野宿問屋保存会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 12月 5日：冬籠り作業 ・ 12月27日：しめ縄飾り付け R2年 ・ 3月17日：役員会 ④辰野町石造物調査会 R2年 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3月17日：役員会 ⑤小野のシダレグリ自生地保全友の会 R2年 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3月 6日：総会（延期。次回開催時期未定） (2) 町誌編纂時探訪史料の保存状況について

アンケートによる保存状況の調査を実施中。世帯主と思われる方にアンケートを郵送した。現在までにいただいている返信をまとめて、お配りした資料3～5ページにまとめてある。アンケートの項目は、

- ①過去の調査を知っているか
- ②現在の保管状況を把握しているか
- ③現在の保管場所
- ④今後の相談を希望するか

の4項目。9名は居所不明。空欄は未返信。

代替わりのせいか、過去の調査を知らない方と、把握・保管をしている方との両極端。今後の相談を希望する方もいるため相談に乗っていきたい。残念ながら、はっきりと破棄されたものが2件ある。その文書はもうコピーしか現存しない。

意見： 居所不明者や未返信者の中にご存じの方がいるので、連絡を取ってみる。

意見： 古文書をお持ちのお宅は、かつて村の役人だった家。所有者は個人だけど、文書は公文書である。そのことをお伝えすれば、わかってくれる人もいる。

質問： 寄贈を受けた際に、ここに安心して預かれるという収蔵場所がないといけない。コメント欄を見てみると、コメントをくれた方は史料の保存について前向きに考えてくれているが、相談希望の方への対応はどうするか？

→ 今後連絡を取り、伺うかお越しいただき、寄贈も含めて対応をご相談する。保管場所は暫定的措置として文化財調査センターへ。

(3) シダレグリ保存管理委員会について

保存管理計画が昨年度（H30年度）完成した。計画を具体的にどのように進めるかという話になってきたので、整備計画を策定している。友の会の作業（下草刈りを、2年で指定地を一周できるように実施していきたい）についてや、シダレグリの樹間を7mにしていくことなどを盛り込む。活用事業については、来年度以降に指定地の外に遊歩道をつくったり、ガイド施設を作ったり等を検討。整備計画を策定し計画書を発行しないと、国から補助金が出ないそうなので、来年度なるべく早く発行したい。骨子はできているので、来年度1回目の委員会で意見がなければ印刷に入りたい。

(4) 令和2年度の事業について

● シダレグリ再生事業

国庫補助金を申請し、来年度から実施していく。指定地の面積すべてを単年で実施することは予算的に難しいので、来年度は0.8ヘクタールについて実施する。作業は初夏から秋口までにやってしまいたい。指定地外の上部に作業道を開け（復旧は要相談）雑木を伐採し、フレコンに積んで人力で運び出し破碎処分。チップは有効活用の方法を考え、薪になるものは薪材に。指定地内の踏み荒らしに気を付けてもらう。草は刈り払うが、外来植物は刈らずに抜き取ってもらう。友の会作業の時は作業をしないよう要請。2年目・3年目で残りの面積について事業を実施し、4年目で全体の仕上げをする。再生事業後は友の会作業で草刈りをしながら維持していく計画。

事業は3年間で実施したかったが、全国のあちこちから補助の要望がある中で4年になった。国からの補助金額は全国でもトップクラスの額だそう。再生事業を実施しながら整備事業の補助はもらえないので、活用については再生事業実施終了後から着手。それまでの場繋ぎで、令和3年にシンポジウムを開催したい。天然記念物指定100周年記念として、9月頃実施したい。その後整備事業へ移行したい。

意見： 大規模に整備をやるということだが、その後の維持について、人力でやっていくのは大変。天然記念物は、昔は人の生活との関わりの中で維持されてきたが、今はそれがなくなっている中で守っていかなければならない。余計な手間をかけなければいけない。

● 矢彦神社の右回廊修繕について

矢彦神社の神楽殿修繕について、元々は令和2年度までに完了の予定で事業を実施してきたが、県補助の関係で実施を繰り上げ、今年度で予定していた修繕内容は終了した。しかし拝殿右回廊に雨漏りがあり、垂木が腐食してきているので、令和2

年度までの継続事業として、続けて事業を実施したいと要望を挙げているところ。

(5) 『辰野町資料』について

3月中に120号・121号を発刊する予定で進めている。120号は『懐中扣（かいちゅうひかえ）』の特集、121号は荒神山のミヤマシジミと、ダルマガエルについて。完成は3月中だが、配布は4月になるかもしれない。

(6) その他

● 町並みワークショップ（報告）

令和元年11月30日に、信州大学土本研究室が小野で「町並みワークショップ」を実施。30名が参加した。テーマごとにテーブルに分かれて話し合ったが、最後にはテーマを超えて小野全体の話に。思いを持った皆さんが参加してくれた。進行やまとめは土本研究室の学生さんが担当し、ワークショップの報告についてもまとめてくれている。話題としては、駐車場や道の問題などが挙がっていた。

● まちづくり通信（報告）

第6号を発行。

意見： 雨沢の火の見やぐらがこんなに貴重とは思わなかった。

→ まちづくり通信に掲載した火の見やぐらについては、大橋鉄工所に青焼きの設計書があると聞いている。旧小野村役場の蔵の中から発注した根拠資料が出てくれば、登録有形文化財にも申請できるかもしれない。

● 町並み講演会（報告）

令和元年12月14日に、第4回町並み講演会を実施。講師は長野大学環境ツーリズム学部教授の市川正夫先生。県教育委員会で伝統的建造物群について担当していたこともあり、事務的な指摘も多かった。『辰野町資料』第122号で講演内容を紹介したい。

● 郷土研究会（仮）について（報告）

石造物調査会は、町内悉皆調査も終わり活躍の場がない。また現在、町に郷土研究会がない。そこで石造物調査会を発展的に解消し、郷土研究会へ移行したい。合わせて公民館講座「郷土を知ろう」の講座生の皆さんにも声をかけて立ち上げたい。調査会・公民館講座の代表の方や、区誌の関係者に声を掛けた。来年度の石造物調査会総会にはかり、進めていきたい。

意見： 審議会委員の皆さんも関わってもらいたい。

● 土偶X線撮影について（報告）

お配りした写真を参照。長野県立歴史館で土偶展があり、辰野町の土偶を貸出した際、返却前にX線写真を撮影してもらった。土偶の制作過程の一部が判明。顔の半分まで空洞があり、頭はミルフィーユを重ねるようにして丸くしている。腹部と口には穴を後から開けているようだが、頭はあらかじめ穴のある場所を意図して避けて作っているようだ。胴体の輪積みは不鮮明でわからなかった。

質問： 腹部と口の穴は最初から？

→ その2箇所は薄い所だから後から穴を開けたようだが、頭部は厚みがあるので、あらかじめ穴を開ける予定の箇所に何かを置いて粘土を積んでいったようだ。

● 『辰野町の指定文化財』について

これまで平成8年に作成したものを配布していたが、配布し終わってしまったので、前回発行後に文化財に指定したのも加えて令和2年度に再発行したい。指定物件調査票を元に原稿を作成したので確認をお願いしたい。体裁は変えない（文字数はこのくらいが限界か）。写真は現状に合わないものを差し替え予定。

質問： 指摘事項がある場合は？

→ 事務局へご連絡を。

質問： 指定解除したものはどうするか？

→ 削除する。

意見： 前回発行して以降、新たに24件が指定された。最近は手長神社の指定以降指定がない。

● シダレグリ自生地紹介パンフレットについて

昨年度の保存管理計画策定委員会で指摘を受け、パンフレットを作成した。配布した内容で印刷予定。

5. その他

意見： 「NHKのだ自慢」の番組冒頭の町紹介で、町の文化財が全く紹介されなかったのが残念。どんなふうで紹介されるだろうかと期待していたのだが。

→ 番組の内容についてはNHKが主導するので、NHKは番組制作にあたって『辰野町誌』近現代編を購入してくれた。紹介したいものは色々あったが、ホテルと、あとは旬の映像が欲しかったのだと思う。

→ 新型コロナウイルスがこのような情勢になり、番組を収録・放送できただけでも良かった。

7. 閉会

マスク着用の中ご参加ありがとうございます。町誌編纂史料を町で預かることになる。その実績で文書館という話にもなるといい。事業は増えるが応援していきたい。

現地視察： 視察はせずにすみやかに解散とした。